

1 教育目標 「天神山でよかった」を高める

～ふるさとを愛し、未来に夢をもち、たくましく自律できる天神山っ子の育成～

2 経営方針

児童一人一人の人格を形成するため、教育行政機関である学校は「七尾市教育大綱」及び「七尾市学校教育ビジョン」を踏まえ、地域に根差した学校経営を行い、子供・保護者・職員が「天神山でよかった!」「七尾でよかった!」と感じ満足できる学校を目指す。

3 中・長期的目標

(1) 子供が、「天神山で学んでよかった」と感じる学校

①安全・安心な学校

- ・児童の居場所があり、心の安全・安心が保てる居心地のよい学校
- ・「自分の命・体を自分で守る」という自律的な態度をはぐくむ防災・安全教育

②明るく楽しい学校

- ・気持ちのよい先あいさつと喜びの歓声がある学校
- ・あたたかさやユーモアあふれる学校

③「なぜ学ぶのか?」を意識し、自主性を育む指導の充実、「学びを喜ぶ」学校

- ・「分かる楽しい授業」「活動量のある学び」「自己決定の場がある、満足した学び」
- ・学習 (授業改善による個別最適な学び“with GIGA”、ふるさと七尾 SDGs 教育)
- ・生活 (生徒指導の実践上の4つの視点を生かした指導)
- ・特別支援教育 (教育的ニーズの的確な把握、合理的配慮を考慮した実践)

(2) 保護者が、「天神山で学ばせてよかった」と感じる学校

- ・日頃の子供の姿から、「任せて大丈夫、預けて安心」と感じる学校
- ・保護者に寄り添い、保護者目線で迅速かつ適切な情報を提供できる学校

(3) 職員が、「天神山で働いてよかった」と感じる学校

- ・子供の成長の姿から、“働く喜び”を感じる学校

(4) 幼保園が、「天神山に入学させてよかった」と感じる学校

4 重点項目とめざす姿

「自ら学びを求め、考え、判断し、仲間と学びを喜ぶ児童を育てる」

- (1) 学校づくり (認識の共有化と行動の一元化による組織推進体制の整備による学力保証)
- (2) 人財づくり (若手中堅職員の人財育成とベテラン教員の相乗的な人財活用)
- (3) 連携づくり (幼・保、中学校との学びの連続・接続を意識した連携を進める学校)

めざす児童像	めざす教師像
すすんで学び、考える子	・働きがいをもって笑顔で児童と向き合う教師
心の美しい、やさしい子	・一人一人の躓きや困り感に寄り添える教師
たくましく、やりぬく子	・働き方を見直し、授業力を磨く教師

5 重点的な取組目標

- (1) 学力の向上 (組織的な学校研究と授業改善の一体化による指導力向上)
- (2) いじめ・不登校の未然防止, 早期対応 (変化を見逃さない体制と保護者目線での対応)
- (3) ふるさと七尾 SDGs教育の推進 (願いの七尾市民憲章から、実現の七尾市民憲章へ)